第 50 号　　平成 30 年 1 月 1 日発行

社会福祉法人 友愛会

友　愛

題字　前渕　幸信

【理念】 自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい

社会福祉法人　友愛会

亀岡友愛園

〒621-0251　京都府亀岡市本梅町平松ナベ倉 12 番地
TEL：0771-26-2115(代)　　FAX　：　0771-26-3557

《特別養護老人ﾎｰﾑ》
TEL：0771-26-2115
FAX：0771-26-3557

《デイサービスセンター》
TEL：0771-26-5432
FAX：0771-26-3557

《居宅介護支援事業所》
TEL：0771-26-0039
FAX：0771-26-5929

≪ﾎｰﾑﾍﾙﾌﾟｽﾃｰｼｮﾝ≫
TEL：0771-26-0038
FAX：0771-26-3557

《亀岡市地域包括支援ｾﾝﾀｰ》
TEL：0771-26-0056
FAX：0771-26-5929

《高齢者あんしんサポートハウス》
京都府亀岡市本梅町平松原谷 24-2
TEL：0771-26―2310　FAX：0771-26-0880

地域密着型事業　　すずらん

〒621-0806　京都府亀岡市余部町中条 17 番地
グループホーム　小規模多機能ホーム　　TEL・FAX　:0771-20-2840
社会福祉法人友愛会　後援会　振替口座　01030-8-42554　　http://www.yuaien.or.jp

ご挨拶

社会福祉法人　友愛会
理事長　内藤徳男

平素より、当法人の運営に関しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
当法人のサービスをご利用して頂いている方々をはじめ地域の皆様方から、㈱友愛会が信頼していただける存在になれるよう、これからも努力して参る所存でございます。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

『自分のありたい姿』として、心に留め置きたい事を綴らせて頂きました。

「なまけものの原動力」

人はもともと「なまけもの」で動かずに生き残れるものなら動きたくない生き物です。その事は、一例を挙げれば「ダイエット」がほとんど成功しないことに表れています。
しかし、人の性(さが)に逆らって「努力と言うしんどい事」を前向きにしている人を、たまに見かけることがあります。何故、その人は、人の性(さが)に逆らってでも前向きになれるのでしょうか？・・・・

きっとその人は、「しんどさ」の中にも自分が存在している価値(意義)を発見し、もがいている自分を受け入れ、細やかでも人としての誇りが持てる事の喜びを感じておられるのでしょう。
仮に、迷いを持ったままやっている事であっても、誰かが生きて行くための、何らかの力になれている**自分の存在価値(意義)を、もう一人の自分が認める事ができて初めて、**人は、その行為の中に**自分も周りの人もお互いの存在を認め合えることの喜びを実感できる**のでしょう。
自分と周囲の人の存在価値(意義)を認め合える中にこそ、「なまけもの」でも前に進んで行けるのではないでしょうか。
人としての存在価値(意義)を認め合い、喜び合える関係づくりを目指して行きます。

一声から始まる『交わり』を

社会福祉法人友愛会
顧問　前渕幸信

平成 29 年６月に、私は理事長を退任して、顧問の立場となりました。
この地域の皆様には有形無形の恩恵を賜り、今日の社会福祉法人友愛会をお育て頂き、心よりお礼申し上げます。
本梅の地に根ざして４５年、私にとっては『ふる里』と呼べる土地です。私がキリスト教に救われ、老人ホーム建設の夢が叶えられたのは、当時の村上英司牧師の強い勧めがなければ決心しなかったと思っています。
時は移り、今や日本は少子高齢化社会という現象が起きています。それにまた、日本国の将来の人口が心配されています。若い人たちは、職を求めて都会へ出て行き、高齢者が取り残され年々一人暮らしが増加していく現状は、全国各地で起こっています。そこで、何とか活気づけたいと色々と知恵を出し合って村興し運動が展開されています。
こうした社会構造の変化は、少子高齢化だけの問題ではなく、人口減少が重大な課題となっています。
現在、高齢者お一人お一人の暮らしの相談窓口として、亀岡市地域包括支援センター友愛園が、事業として市から委託されていますので、遠慮なく電話一本下されば担当者が訪問させて頂きます。元気なうちから食生活やストレスに気を付け、自分らしく健康づくり、体力づくり、生きがいづくりを心掛けたいものです。
そして人と人との関係を作るためのチャンスは、人に自然と一声「こんにちは」と言える繋がりや働きかけの中にあります。
高齢になっても元気で自立して質の高い人生を過ごしたいと願っています

友愛会宝箱

～Part2～

亀岡友愛園・すずらん　で活躍されている方々をご紹介します

高齢者あんしんサポートハウス

☆小西　玉子さま

92 歳の方です。毎朝の散歩が日課で、玄関前の園芸や畑を一緒にして頂いています。
平成 29 年の夏は畑でトマト・かぼちゃ・万願寺とうがらし・うり・きゅうり・
えんどう・サツマイモが収穫できました。

☆山内　喜久治さま

70 歳の方です。毎朝野菜の芽を日に当たる場所に移動してくださり、
芽が大きくなるようにしてくださり、畑つくり・園芸の土つくりを一緒に
して頂いています。

☆安部　洋子さま

80 歳の方です。「体を動かすのは、自分のためだと思っています。こんなおいしい
空気の中で気持ちがいいです！！暑い日も、寒い日も玄関回りのお掃除、感謝です 。」

特別養護老人ホーム

☆中塚　成野さま

９１歳の方です。編み物は小学校前からされていました。
「もう８０年になるわ～」と言われています。初めて編んだのは『パンツ』だった
そうです。ご近所のおばさん達から『パンツ編んで』と頼まれて、みんな中塚少女作
毛糸のパンツを履いていたらしいです。

☆竹原　はつ子さま

83 歳の方です。ご実家が魚屋さんで、昔々丁稚奉公の子供たちと一緒に
ハーモニカをふいて遊んでいたそうです。「子供の頃の遊びです・・・」と
言われていますが、毎月職員の演奏者とコラボしてくれています。
ハーモニカの音色は不思議です。利用者も職員も歌いだします。
懐かしい童謡がホールに流れると、なんだか気持ちがあたたかく和みます。

すずらん

☆中村　芳子さま

80 歳の方です。いつも昼食を食べた後に、持参のエプロンをつけて食器を
洗ったり拭いたり片付けたりと手伝ってくださいます。少し寒くなり、
エプロンを替えてこられると「これは冬用や」と笑っておられました。
いつもキレイにして頂き有難うございます。

友愛園　特養　看取り委員会

最期の時まで友愛園での生活を希望される御利用者様が増えてきました。
そして２８年度に最期をご自宅でと希望され、在宅に帰られた御利用者様がいらっしゃいました。
最期を過ごす場所の選択として、施設、病院、そして自宅という選択肢もとても素晴らしいと感じました。
そこで実際に自宅で過ごされた感想を御長男の奥様にインタビューさせて頂くことができました。

M様（T 15 年生まれ）プロフィール

H26.2.18友愛園入所。長年宮前町で生活されていました。
入所後１度だけ入院される事はありましたが、穏やかにゆっくりと過ごされていました。
笑顔がとても素敵で童謡をよく口ずさんでおられました。
H28.11月頃より食事が少なくなっていき全身的に衰弱されてきました。この頃より施設と御家族様、主治医とで話し合いを重ね、ご自宅に帰れる準備をすすめていきました。そして在宅主治医、ケアマネが決定し 12 月 17 日ご自宅に帰られました。御家族様に看取られ 12 月 20 日住み慣れた場所で永眠されました。

Ｑ１、自宅に帰ろうと思われたきっかけは何ですか？
デイサービス利用中より、しんどい時は助けてもらうけれど、最期は住み慣れた家で看取りたいと考えていた。

Ｑ２、不安に思われたことはありましたか？
自宅に迎え入れようと思っていた時に熱を出していたので、体調が戻るまで園にいた方がいいのか、連れて帰った方が本人の身体がしんどくなってしまうのではないか判断に困った。

Ｑ３、御家族みなさんが同じ意見でしたか？
親戚は反対している様に感じた。後にわかったが、嫁の負担になるからと考えてくれていたようである。夫はお前が連れて帰りたいのであれば・・・。自分は直接の世話はできないかいからそれをしてくれるというのならと賛成してくれた。

Ｑ４、苦労されたことはなんですか？
介護ベッドが本当に早く欲しかった。ベッドがきてからは何をするにもとても楽になった。ベッドがくるまでの期間は人手が欲しかった。

Ｑ５、実際に看取られてどう感じられましたか？また自宅に帰られた時期については満足されていますか？
充分な事はできなかったかもしれないけど住み慣れた家で自然な亡くなり方ができました。
正月までは一緒に暮らせると願っていましたが、年内でした。迷惑かけない様に、おばあちゃんがしてくれたのかなと思う。
熱がなければもう少し早く連れて帰りたかったが、その判断が難しかった。

Ｑ６、今回の選択はどう思われていますか？
家が大好きだったので喜んでくれたと思う。
お世話になったおばあさんへのお礼が出来た。

Ｑ７、おばあさまとの１番の思い出は何ですか？
思い出はあり過ぎます。何よりも私（嫁）を大事にしてくれた。

Ｑ８、「最期は自宅で」と考えておられる方に伝えたいことは何ですか？
何もかも自分たちでと無理をせず、訪問介護、看護を利用しながら介護することで負担は減ります。
介護ベッドがあれば本当に何でもできます。
基本的な事（オムツ交換や体位変換）の方法を施設の方に教えてもらったらいいと思います。

看取り委員会では今後も新たな取り組みを目指していきます。

今昔物語

温故知新　～故(ふる)きを温(たず)ねて、新しきを知る～

本梅町の神社・余部町天神さん・宮川郷志会・金輪寺

あんしんサポートハウスのある本梅町
神社信仰と人々の交わり

神社信仰は、そもそも自然への畏敬の念から、万物に神が宿ると考えられ、そこに住んでいる人達が、生活の折々に祈る対象として受け継がれてきました。神棚と仏壇が、ほとんどの家に祀られており、日本人は八百万(やおよろず) の神や仏を受け入れる民族性を有しているように思われます。

本梅町には、屋磨内神社(東加舎)、加舎神社(西加舎)、廣峯神社(中野)、八幡宮(中野)、出雲神社(井手)、菅原神社(平松)の神社があります。

秋祭り

春には、『早苗饗(さなぶり)』と呼ばれる神事が行われます。
田植えが終わった後、６月末～7 月初めに氏子が神社に集まり、豊作への祈願を行います。また、秋祭りは神社の中心的な祭礼であり、神輿の渡御やお神楽の奉納は収穫への感謝を表します。
平成２９年の秋祭りは、１０月８日(日)に行われました。
延福寺や永徳寺では、多くの女性たちが集い、定期的にご詠歌の練習が行われ、地域のコミュニティーサロンの役割を果たしています。

神輿御旅所出発

子供太鼓が神輿に続く

東加舎　屋磨内神社　　宮司　柳原和明様

昔から神社やお寺の催事は、農民の生活サイクルと連動していました。
ある時は、神社の祀り事に参加し、ある時はお寺の催事に参加する事が日常的に行われていました。お寺の本堂や神社の社務所は、今の「ふれあいセンター」の役割でした。

農業村落は、基本的に宗教(神社やお寺)を通してヨコ社会を構成して来たように思われます。村落共同体は、自然に形作られたものであり、文章化や体系化しづらい存在でした。

私が、宮司になった動機は、今の子供たちが自然に神社・お寺に来てくれたら、「人同士が支え合う事の大切さ」を子供なりに肌で感じてもらえ、いじめや登校拒否などがない地域にしたいと言う思いからでした。これからも昔から育まれてきた地域のつながりを維持発展できる事を願っています。

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ/小規模多機能　すずらんのある余部町

天神さん

天満宮の歴史

天満宮は「天神」（てんじん）、「天神さま」「天神さん」とも呼ばれます。

社名は、天満神社（てんまんじんじゃ）、祭神の生前の名前から菅原神社（すがわらじんじゃ）、天神を祀ることから天神社（てんじんしゃ）などとなっていることもあり、また、鎮座地の地名を冠していることもあります。菅原道真を「天神」として祀る信仰を天神信仰といいます。

道真が亡くなった後、平安京で雷、大火、疫病などの天変地異が相次ぎ、清涼殿落雷事件で大納言の藤原清貫ら道真左遷に関わったとされる者たちが相次いで亡くなったことから、道真は雷の神である天神（火雷神）と関連付けて考えられるようになりました。「天満」の名は、道真が死後に送られた神号の「天満（そらみつ）大自在天神」から来たといわれ、「道真の怨霊が雷神となり、それが天に満ちた」ことがその由来とされています。

御利益を求めて

道真が優れた学者であったことから天神は「学問の神様」ともされ、多くの受験生が合格祈願に詣でます。参拝して筆を買うと受験に御利益があるともいわれています。

天神祭には！

ご利用者の中で昔から余部町に住んでいる方に聞く所、余部の天神さんは天保時代に出来たようで「詳しい資料は全然ないんや、記録する物もなかったから・・・有力者の方が土地を寄付して天神さんは出来た」昔は旧国道に夜店が出て、かき氷や金魚すくい等があったそうです。

天神祭りでは、子供みこしや神主さんの説明等があり地域の方も協力的でやぐらを立てたり、ちょうちんの準備も手伝う事が出来ました。
今年もすずらんでは屋台を出すことになり、射的・コイン落としゲームをしました。去年の反省を活かし景品も多く用意していましたが当日はあいにくの雨模様でした。たくさんの方がゲームを楽しんでもらえたように思います。

特養の地域活動拠点がある宮前町

宮川　郷志会

　郷志会は昭和２５年から３０年代の宮川生まれの若者で約９年前に結成されました。
国道沿いの草刈りやゴミ拾い、地域の行事にも参加し
ホームページで PR 活動も行っています。
地元宮川を活性化させる有識者２５名の組織は、
いつもおもしろい事が出来ないか考えています。
　そんな中で、平成２８年３月に行ったバーベキューで、
何とか「伊勢大神楽」をもう１度宮川に呼べないか!?
と話題が浮上しました。
　宮前町宮川の後期高齢者率は３０％を越えています。
もう１度地域の先輩方に「伊勢大神楽」を
見てもらいたいと企画が始まり、平成２９年５月４日、
５０年振りの**「宮川伊勢大神楽」**が実現に至りました。

　４０年程前から大型店舗の侵出や、各家庭に車を
複数台所有するようになり、賑わってきた宮川も様子が
ガラっと変わりました。
昔は地域や各家庭でしていた風景が薄れてきた宮川ですが、
懐かしい事が出来ないか!?と常に構想中です。

終わりに、平成２９年度の宮川盆踊りの様子です。
郷志会は「水都ちゃん焼き」「じゃぼーる」や
「アユのつかみ取り」を出展されました。
今回初めて「アユのつかみ取り」をされたそうですが、
子供たちは大はしゃぎ！
「じゃぼーる」はスパイシーで、「水都ちゃん焼き」は
自然な甘さで大変おいしくいただきました。
お見掛けになられた際は是非ご賞味ください。

郷志会の皆さん、
　　本当にお世話になりました。

宮川　金輪寺

亀岡の歴史を知る散策では、地元寺院の歩みを調べることになり、亀岡南西『神尾山』山上にあります
『金輪寺』さんを訪れました。

取材時、恐縮しながら「私は無宗教なのですが」と伝えますと、住職様に「原点は月、太陽、大木等、身近な自然に感謝する気持ちです。原始的宗教の教えですから、構いませんよ」と優しく声をかけていただき、色々なお話を聞くことができました。
今回は宮前町史に詳しいご長老西田氏にご一緒いただきました。
『金輪寺』さんは遥か古の延暦（えんりゃく）年間に西願（せいがん）上人が開いたと伝えられています（亀岡市 HP より）。
天台宗の寺院で、鎌倉中期金綸寺山岳裾野には、極楽坊舎、宝蔵坊舎、竹中坊舎など１２の坊舎を構えるぐらいの大きな寺院でした。その軌跡は今もなお神尾山南北両谷に残されている数多くの石垣、礎石などの遺構が物語っています。

『金輪寺』さんの立派な本堂には金剛力士像が勇ましい形相で、本尊の薬師如来像を守るように仁王立ちしていました。この力士像は２９年８月２２日に京都府暫定文化財に指定されています。
見上げた力士の厳かな表情には圧倒されます。すごい！迫力です。
こんなに剛健な仏様に毎日守られているので、きっと地元の方々も安心して暮らしていけるのだなあと思いました。

『金輪寺』さん本堂脇には、平安時代の医師『丹波康頼公』の供養塔があります。現在する最古の漢方医書「医心方」を完成させた人です。寺院周辺は薬草の生育地です。最近は見なくなってきたセンブリ「これは胃薬でしょう、葉先を摘んでね。とにかく苦いですよ。先人の知恵ですね。」と住職様から古来より親しまれてきた地元に群生しています、筍、雪の下、わらび、ぜんまいなど山菜や旬采のお話もいっぱい聞けました。

地元地域のお年寄りに聞いてみました。
「あんた、金綸寺の立派な位牌堂見たか？」
「位牌堂？」って答えると、
「何や、知らんのか。すっごいで～。
檀家さんの位牌がひな壇になって
こ～んなに納められてるんや」と
両手をいっぱいに広げ
その数の多さを表してくれました。
実は位牌堂を建てたのが、偶然お話を聞きましたこの地元の大工さんだったんです。
「前の本堂の屋根をふきかえするときは
檀家さん皆でトタンを丸めて
背中に背負って、地下足袋履いて
山頂まで歩いて運んだんや」「昔は米も担いでなあ」
と遠い昔の記憶をたどって懐かしそうに、そして、
「昔は、木　一本一本が小さかったから、一生懸命登ったあの山頂から亀岡市内を、ず～～と一望できたんや」と、高い空を見上げながら『金輪寺さん』物語を自慢げに話してくれました。
100 歳近い地元大工さんのお母さんは、「金輪寺さんか・・。仕事で、息子が人気あってなあ。人気があってなあ。人気があったんや。息子がな」と仕事ぶりに人気があった当時の息子さんを、何度も何度も自慢されていました。

『金輪寺』さんは、昔々の長～いあいだ地域に根差し，そして地域と共に、ある時は地域の癒しのよりどころに、地域住民の心に刻まれる宝物として、暮らしや文化歴史を刻んでこられたのだと感じました。
金輪寺さんは昔も今も変わらず、地域自慢のお寺さんでした。

友愛園・すずらんを取り巻く地域の歴史を訪ねてみました。いかがでしたか?

これからも地域と共にありたいと願っております。　　友愛会

本 梅 町 自 治 会 主 催

地 域 防 災 訓 練

平成 29 年 8 月 26 日（土）の午前中に、保津橋桂川左岸河川敷（亀岡市保津町）に於いて、亀岡市総合防災訓練が行われました。

同日、本梅町に戻り、1人暮らしの要配慮高齢者の受け入れ避難訓練を、高齢者あんしんサポートハウス亀岡友愛園を緊急避難場所として実施しました。

【訓練日時】

平成 29 年 8 月 26 日（土）　14 ： 40 ～ 16 ： 30

【訓練手順】

① 14 ： 40　亀岡市から本梅町自治会へ住民避難指示が発令される。
② 15 ： 00　自治会長の指示を受けた区長から、サポートハウス園長携帯に要配慮高齢者受け入れ要請の一報が入る。
③ 15 ： 05　サポートハウスから包括友愛園へ、避難者受け入れ対応の協力依頼の連絡を入れる。自治会長は、本梅町民生児童委員 4 名に連絡を入れる。
④ 15 ： 10　サポートハウスから要避難者宅へ出向き、車に避難誘導をする。
⑤ 15 ： 15　園に到着する。
⑥ 15 ： 20　園でバイタルチェックをする。
⑦ 15 ： 25　自治会長へ避難者受け入れ状況報告の tel. を入れる。
⑧ 15 ： 30　サポートハウス園長は、受け入れ対応について、関係者に説明と協力依頼をする。
⑨ 15 ： 45 ～ 16 ： 30　訓練終了後、本梅町自治会館に於いて、関係者で訓練総括のミーティングを行う。

避 難 誘 導

健康チェック

訓練の振り返り

≪評価≫

・ 自治会長、区長、児童民生委員、包括友愛園、（福）友愛会が、地域防災について意見交換をする中で、関係性が強まり、信頼関係を深めることが出来た。
・ 要配慮高齢者の方と顔の見える関係作りが出来た。

≪課題≫

・ 個人情報保護とスムーズな避難誘導を両立させるために、情報を提供する側と受け取る側の共通理解が必要。
・ 上記の共通理解をするために、個別ハザードマップの作成・更新が必要。
・ 避難者家族の連絡先に関する情報収集の方法と情報収集後の連絡は誰が入れるのか。
・ 家族だけで避難誘導できない在宅要介護者の避難対応をどのようにして行くのか。

宮前町 神前から全国へ発信している地元住民の方をご紹介！！

ちょろぎ村 いよいよ誕生！

森のステーションかめおかに、この冬「ちょろぎ村」がグランドオープンします。
なんと、この『ちょろぎ』で脳血管性認知症予防を期待できるというのです。

「薬草と健康づくりの会」代表、亀岡市宮前町神前の森　隆治さんが、この『ちょろぎ村』の発起人であり、またちょろぎ研究者のお一人です。

ちょろぎとは？？

今回、この亀岡西部地域から、全国に発信活躍されている森さんを取材させていただきました。
お正月のおせち料理に使われて、「長老喜」と書かれて縁起をかつぐ地方もあるらしく、見た目は白くて小さなくるくる巻貝のようです。
食べ方では酢つけが主流ですが、「ちょろぎ村」では、甘酒や飴玉など、色んな食品に加工されて皆様にご賞味いただいています。

身体に優しいものを・・・

『ちょろぎ』と同じく「銀杏の葉」でも脳血管性認知症の予防効果は期待できますが、森さん曰く、銀杏の葉は胃に負担をかけるという副作用をもたらすので、私は胃に優しい『ちょろぎ』を選びました」と森さんのお人柄と鏡写しのお言葉でした。
地域の方々に『ちょろぎ』を栽培してもらい、地元製薬会社で『ちょろぎ』エキスを製造し、市内の企業で、お酒や飴玉、甘酒、あられなどに加工したりと、宮前町神前の『ちょろぎ』の環は着々とそのＤＮＡを繋げて成長しています。

想いは広がり・・・未来へ

来年は今年より多くの収穫を予定されています。収穫の人手には地域作業所も参入活躍するとのこと。
森さんはこの取り組みを、農業＋福祉で「農福連携」と言われていました。
「ここに、この地に、人が来てほしい。」「愛着をもってほしい。」「住んでみようかなあと感じてほしい。」
「ちょろぎ村」は亀岡を元気にします。」と夢がいっぱいつまったお話を聞かせていただきました。

森のステーション「ちょろぎ村」には薬草や健康をテーマにした「見る」「学ぶ」「食す」「買う」「癒す」と様々な楽しいブースが企画されています。
森のステーションの風景に自然薬草原が一面に広がります。
足を踏み入れる子供も大人も、身近な草花の恵みに抱かれた健やかな暮らし体験ができる「ちょろぎ村」を訪れてみてください。

月別献金者ご芳名

社会福祉法人友愛会のために用いて下さいと尊い献金を寄せてくださった方々のご芳名を月別に報告させていただきます。
平成 28 年４月～平成 29 年３月までご厚情をいただいた方でございます。（敬称略順不同）

平成 28 年 4 月
京都聖徒教会　長屋光行・郁子　安倍惠子　宅間恒子　(有)P.C.S ベンディング
安部洋子　阿瀬安子

平成 28 年 5 月
高野あい子　京都聖徒教会　長屋光行・郁子　(有)P.C.S ベンディング　佐々木初代
安倍惠子　野村君子　前渕幸信　阿瀬安子

平成 28 年 6 月
山根芳枝　京都聖徒教会　長屋光行・郁子　山脇さかゑ　前渕幸信　阿瀬安子
安倍惠子　(有)P.C.S ベンディング

平成 28 年 7 月
京都聖徒教会　長屋光行・郁子　安倍惠子　浦野とし子　余部町自治会　前渕幸信
阿瀬安子

平成 28 年 8 月
(有)P.C.S ベンディング　京都聖徒教会　長屋光行・郁子　安倍惠子　藤井ムツ子
前渕幸信　阿瀬安子　余部町自治会

平成 28 年 9 月
京都聖徒教会　山田勝造　野村君子　長屋光行・郁子　本梅町自治会　阿瀬安子
本梅町民生児童委員会　西村久子　近藤和江　安倍惠子　京都聖徒教会　前渕幸信

平成 28 年 10 月
(有)P.C.S ベンディング　長屋光行・郁子　稲川はつを　中井ヒサ子　安倍惠子
佐々木初代　前渕幸信　阿瀬安子

平成 28 年 11 月
なでしこ美容室㈱　長屋光行・郁子　近藤和江　京都復興教会　京都聖徒教会
山根芳枝　清水潔・宏子　(有)P.C.S ベンディング　中村信幸　前渕幸信
阿瀬安子　安倍惠子

平成 28 年 12 月
人見　勝　京都聖徒教会　恵産業㈱　関田嗣雄　長屋光行・郁子　藤田抄子
古郡荘八・一木千鶴子　桑瀬勝朗　藤井ムツ子　(有)P.C.S ベンディング
宅間恒子　中村祥子　森　隆治　前渕幸信　阿瀬安子　佐々木初代　洛王セレモニー

平成 29 年1 月
本梅町南北老人クラブ　丹波新生教会　京都聖徒教会　中川栄子・杉森ふさ代
松本正二　島本キリスト福音教会　長屋光行・郁子　田中顕・北村ちづ　福知山教会
高原富久子・八木由紀子　前渕幸信　阿瀬安子

平成 29 年2 月
京都聖徒教会　林下尚子　(有)P.C.S ベンディング　長屋光行・郁子　上原正晴
滝岡マスエ　京都復興教会　安倍惠子　前渕幸信　阿瀬安子

平成 29 年3 月
安部洋子　京都聖徒教会　角谷　正　長屋光行・郁子　近藤和江　(有)P.C.S ベンディング
安倍惠子　佐々木初代

後 援 会 会 員 名 簿

社会福祉法人友愛会後援会の皆さまには、平素から格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。
「友愛」の機関誌にて、ご報告に代えさせて頂きます。

（平成 29 年 11 月 1 日現在　　敬称略順不同）

東　愛子　五十嵐洋子　伊藤望　茨木福夫　今井冨佐三　今西儀夫　今西光恵
今村千登士　岩崎純一　岩崎栄子　石橋かおり　植村良彰　浦野とし子　宇田慧吾
王鞍静子　大石廸子　大西啓造　大西幸子　岡田淳子　岡部友子　小畑　光　小畑幸代
小畑　義　小畑智恵子　片山清子　片山節子　金谷恵美子　上島滋之　川島浩一
川島奈保子　菅　恒敏　菅　洋子　亀岡聖書バプテスト教会　京都ハリストス正教会婦人会
木村武司　久保満昭　久保末子　神戸照代　小林　久　小林美矢　近藤和江
阪口登詩江　佐々木初代　佐橋光子　澤野井慶子　塩貝　馨　塩貝咲枝　清水ルイ
清水　潔　清水宏子　清水敬子　清水知子　新開千恵子　杉　萬喜　澄川満喜子
千足創三　千足和子　千田路子　高塚　勝　高塚節子　高畑恵子　高屋陽子
宅間恒子　田中　顕　北村ちづ　玉村光子　堂本直子　遠山ミチコ　長尾研司
中川紀子　中川みち　永田真一　永田真由美　中西俊弘　中村いく　中村祥子
中村弘子　西村加寿子　丹羽はるみ　長谷川すみれ　畑　みさ　韓　守信
橋本政志　樋口久美子　人見光雄　平野ふじ江　廣澤悦子　福嶋明美　藤井ムツ子
藤田抄子　藤野孝雄　前渕博明　前渕美佐子　松岡千栄子　松本正二　水谷明子
南　勝司　三村幾久子　村上すみ子　村上ヨシコ　森美由起　森見真次　森見良子
安福美代子　山内敏正　山下ヨシヲ　山田節夫　山田絢子　山本貴美　山本冨美子
力石明子　リンカンリチャード・ベル節子
新　久雄　石野多嘉子　伊藤真由美　岩本健二　笛吹優希　頴川英宜　大下美和
岡林美智代　角山香織　蔭山佐代子　桂　宏美　川勝沙紀　川坂由佳　川村健司
木下洋子　倉石賢治　栗田一平　五代喜代美　小早川広恵　小森智仁　小森優香
佐井儀男　坂本直子　澤田尚樹　塩見和江　柴田一馬　清水裕子　末次薫　高木純
高坂洋介　津﨑順也　辻井千都勢　寺岡萌子　寺嶋浩子　内藤久美子　内藤徳男
中澤妙子　中村美恵　鳴瀬慎太郎　能勢幸浩　野本誠喜　畑　昌平　福庄隆樹
福田朝　福知京子　藤井操　堀越千鶴子　前渕幸信　前渕功　前渕豊　松尾知恵子
松田徹　松田裕子　松本理恵　森政肇　森悠依　山内紀子　山田亜津実　吉田美穂
若新亨也

友愛会で一緒に働いてみませんか?

（福）友愛会は、お年寄りの暮らしを支援する仕事をしています。
お年寄りと関わる中に、生きる事や命に関する奥深い発見と共感があります！
チームでチャレンジできる喜びがあります！
ご興味のある方はご連絡お待ち致しております。